

奥久慈男体山山行報告

【山行日】2024年 11月 24日(日) 晴れ

【集 合】道の駅「しもつけ」P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 2,400円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:岸、

大塚、並木、根本、渡邊

【コースタイム】道の駅「しもつけ」P5:00=大円

地 P6:40/7:00~奥久慈男体山 8:00/8:25~

白木山分岐~第二展望台 10:30/10:40~

第一展望台 10:45/11:00~月居山 11:25/12:05

~月居観音堂 12:15/12:20~袋田の滝

12:50/13:45=道の駅「しもつけ」16:00



去年の11月26日に今日のコースを歩き、カエデの紅葉が素晴らしく「こんな綺麗な紅葉は初めて見たので、来年も同じコースで計画してください」と言われて、今年も同じ時季に計画した。



ところが「来年も計画してください」と言った人たちは、今回の参加申込みは無かった。当日の朝、道の駅「しもつけ」に向かう途中、SLの青柳さんからTELがあり体調不良でキャンセルとの連絡がある。

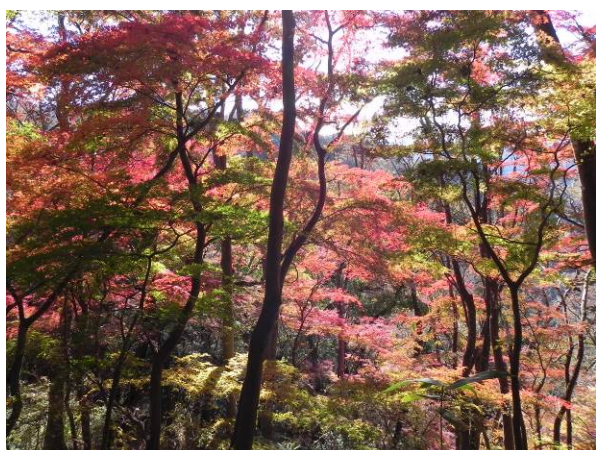
6名で道の駅「しもつけ」を5:00に出発し、国道新4号線から県道10号線を走り道の駅「みわ」でトイレ休憩する。ここから2Km先のT字路を左折し県道32号線を進み、上小川駅から国道118号を南下して滝倉の信号を左折し大円地駐車場に着く。駐車場はす

に満車だったが、駐車場の端に斜めに車を止める。駐車場にはトイレが整備されており、トイレを済

ませストレッチを行ったら出発する。駐車場から右に少し下り、直ぐに右折すると大円地登山口に着く。沢沿いの道を進むと分岐に出て直進は一般コース、左に進むと健脚コースと分かれる。我々は健脚コースを進み、谷沿いの岩に付けられた道を登って行く。やがて急な岩場を登るようになり、ロープや木の根を頼りに登ると岩尾根に出て左の展望所で小休止する。ここからクサリ場が連続し、急な岩場をクサリやロープを頼りに登りスリルを楽しめる。傾斜が緩やかになると東屋が建つ広場に出て、休憩して疲れた体を休める。皆さん「怖かった～」と言いながらも、笑顔で楽しそうにお話していた。



ここから右に登ると奥久慈男体山に着き、記念写真を撮ったら展望を楽しみ下山開始する。東屋が



建つ広場まで戻り、直進して袋田方面への縦走路を進む。ここからは気持ちが良い稜線歩きが続き、去年は見事な紅葉を楽しみながら歩けた道である。今年は紅葉の時期が大幅に遅れ、周囲の木々はまだまだ緑が残っている。それでも赤く色づいたカエデも見られ、陽射しを受けた紅葉に「綺麗！！」と歓声が上がる。白木山分岐から左手に急降下し、角礫岩に付けられた階段状の足場を慎重に下って行く。下り切ると左右から沢が迫り、2つの沢の合流点を木橋で渡る。

薄暗い山道を進むとトラバース道を歩くようになり、アップダウンを繰り返しながら進むと岩壁の縁を歩くようになる。左手が開けて久慈川流域の集落や山々が見渡せ、しばらく進むと第二展望台に

着く。岩壁に突き出た岩場からの展望は素晴らしく、狭い場所なので交代して展望を楽しんだ。ここから急坂を鞍部まで下り、登り返すと第二展望台の鍋転山に着く。ここでランチタイムの予定だったが計画より1時間早く着いたので、頑張って月居山まで行って昼食を摂ることにする。岩場のアップダウンの後鞍部まで下り、ここから急坂を登るが疲れた足には結構きつい登りだ。山頂が近づくとカエデの紅葉が見事で、今日一番の紅葉に励まされ何とか登り切った。山頂は平坦で広いが、大勢の



登山者が紅葉を見ながらお弁当を食べていた。我々も場所を探して奥の小高い場所まで行くが、風が少し強いので広場に戻り大勢の登山者たちと並んで食べることにする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、見事な紅葉を愛でながらランチを楽しんだ。渡邊さんは「こんな素敵な紅葉を見ながら食べられ良かったです」と喜んで



ランチが済んだら我輩は先行して下り、袋田の滝の滝本から予約したタクシーで車を取りに行く。岸さんに皆さんをお願いし、皆さんは月居観音堂から直進して月居山北嶺に登り、その先から袋田の滝の左岸を下って行く。袋田の滝を真近に見ながら降りるコースは迫力があり、皆さんが「滝を見ながら下りとても良かったです」と口をそろえて喜んでくれた。車を回収して滝本に戻り、皆さんを車に乗せたら帰路につく。途中、こんに

やく関所に寄って靴を履き替え、こんにやくを買って出発する。今朝寄った道の駅「みわ」でトイレと買い物を買ませ、道の駅「しもつけ」に予定より1時間早く帰着出来た。